

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 しばんはうすくら 浜松南教室

保護者等数(児童数) 20(20) 回収数 20 割合 100%

	チェック項目	回答			ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ			わからない
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19			1	子どもが伸び伸びとできるスペースとなっています。十分なスペースがあると思います。広い空間で活動できていると思います。	十分なスペースで職員が目が行き届くように、継続して取り組んでいきます。参観などで保護者の方に見ていただく機会を設け、行事などの空席の確保も行っていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18			2	話を聞いているとその様に思います。適切であると思います。職員の専門性は分かりません。	契約時に職員の配置や専門性など、今一度丁寧に伝えていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18			2	バリアフリーになっていて子どもが安全に、安心して遊ぶことができます。設備等は適切であると思います。	見学や参観の時に、設備の説明も含めて丁寧に伝えてきて、子どもが安心して過ごせるように努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19			1	いつ見ても清潔で居心地よい環境となっています。とても清潔であると思います。環境も整っています。	清潔な状態が維持できるように、日々の清掃は継続して行っていきます。その他にも気温や湿度にも気を付け、子どもが過ごしやすい環境を整えます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20				定期的なモニタリングにより適切に作成されています。	職員間で意見を出し合った上で、子どもの実態に合わせ、保護者のニーズに沿った個別支援計画を作成し、丁寧に説明をしていくことを継続してまいります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19			1	子どもに合わせた支援内容が設定されていると思います。	家族支援、地域支援に関して具体的な支援内容を設定してまいります。また、子どもを多面的に捉え、子どもに合わせた支援計画を作成し、より良い支援ができるように継続して取り組んでまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19			1	行われています。	個別支援計画を職員で共有し、同じ支援目標を持って支援していくことを継続して取り組んでいきます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18			2	工夫されていると思います。出ていないことは継続で、出来たことはステップアップしていると思います。	多くの経験を積めるように、また季節感を子どもが感じられるようにSSTや、運動・音楽・地域交流など、さまざまな活動を取り入れてまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8		3	9	他の子どもと接する機会がないため、触れ合いの機会があるといえないと思います。併行通園があるか	今後、交流する機会がもてるように検討し、準備を進めていけるようにします。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1		1	入所の際に説明はありました。	契約時に分かりやすい説明が出来るように心がけ、変更があれば再度説明をしていくようにします。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19			1	説明していただきました。	保護者の方に個別支援計画をお渡しする際に、支援内容を丁寧に説明することを継続して取り組んでいきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	1	1	8	実施はありません。利用回数が少なく、まだよく分かりません。親と一緒に参加してこのような時、どうすればいいかなど学ぶ機会があると嬉しい。	保護者の方のニーズに合った研修が実施出来るように検討します。また参観などを通じて日頃行っている支援方法を見ていただく機会を設けてまいります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20				リズムや送迎時、電話、来所した際にその日の活動内容や子どもの状況を教えていただき安心できます。一日の様子をリズムに書いてくれるため様子を知れていいと思います。もう少し課題を言ってもらえたらと思います。	連絡帳や送迎の際に子どもの様子を伝えるようにしています。出来たことだけでなく、どうしても出来なかったのか、こうしたら出来たというように伝えるようにしています。今後も保護者の方と子どもの状況や課題を共通理解していくように努めます。
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1		2	定期的な面談以外でも相談すると丁寧に対応して下さいませ。いつも助かっています。助言をたくさんいただきたいです。	年に一回の個人面談や適宜電話相談を行っています。今後も保護者の方の困り感に寄り添い、安心感や支援に繋がるように努めてまいります。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	1	1	6	今年度の実施はまだありません。2月のふれあいデーに期待しています。交流会の機会はとてうれしいです。親子参加の遠足があるか	保護者会や参観会の機会を増やすことを検討してまいります。また保護者参加の行事がある際には、保護者同士の交流が出来る機会を増やしてまいります。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1			いつも丁寧にきちんと迅速にご対応下さるので嬉しく思います。相談もさせていたいただいています。相談に対してこばんでの様子と家で取り組む方法をもう少し教えてもらえると嬉しいです。	気軽に相談が出来るように、保護者の方と日々コミュニケーションを取っていきます。職員同士で解決策を話し合い周知し、迅速に返答できる体制を整えておきます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20				リズム等を通じて情報伝達されています。	連絡帳や送迎時に子どもの様子や必要な情報を伝えて行けるように継続して取り組んでいきます。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	1		4	情報紙や写真等でも定期的に発信して下さい。いつも楽しみにしています。活動概要や予定などはお知らせ等で発信されています。ホームページ	行事前後で写真付きのお便りを発行したり写真やフォトで日々の活動の様子を発信していくことを継続して取り組んでいきます。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	19			1	守られていると思います。	個人ファイルは鍵付きの書庫に入れて管理しています。また、個人情報をお預けする際にはシュルダ(ご本人)の同意を得てお預けし、お預けした後は速にお返しいたします。
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	1		1	定期的に訓練がされています。その時の様子も教えていただいています。防犯マニュアル・感染症対応マニュアルはまだ周知されていない気がします。	現在周知していないマニュアルは早急にお知らせをしてまいります。継続して訓練を実施し、その様子をお便りで伝えてまいります。
21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20				定期的に訓練が行われておりLINEでの訓練もあって安心しています。子どもからよく話を聞きます。また、子どもが「ごん」の姿を見つけています。先生大好きで楽しみにできています。	現在は、年に4回、様々な状況を想定した避難訓練を実施しています。今後も継続して取り組んでまいります。「幼稚園も楽しいね」と共感しつつ、子どもたちが楽しんで通所できる場となるように支援内容や行事の企画も話し合い、子どもたちと一緒に実施してまいります。新しく入った職員は、現職員がサポートしつつ保護者の方々に自己紹介をするようにします。また、職員紹介のお便りをお返すようにします。	
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	19	1			いつもこばんに行くことを楽しみにしています。幼稚園	
23 事業所の支援に満足しているか	20					子ども達への対応を見ていて仕事+α、愛情を感じます。いつもありがとうございます。毎日通所(バスに乗って)が楽しくなりました。	

404 8 5 43 88%

保護者数・回収率必ずご記入く  
(※本部で回収率を  
す)

回収率は90%以上  
一部の不満  
吸い上げるこ

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 浜松南教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	机イスを出し入れしたりパーテーションで区切り空間を分けている。	今後も伸び伸びと過ごせるスペースを確保していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	0	放デイ職員もヘルプに入ってくれているので適切である。	今後も子どもの利用人数、状況に応じた体制で職員を配置していく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	視覚化(絵カード)生活空間内にあるものは最小限にしている。	扉の角の部分、走り回る子どももいるので、念のため、保護シールやクッションを貼ってもいいかもしれない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	子ども達が帰った後は掃除をし、清潔を保っている。室温・湿度・消毒などに配慮している。	乾燥対策もこまめに行っていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	書面でやり取りをして、全員の意見を取り入れている。行事後には、終礼前に振り返りを行っている。	振り返りを行い、目標のすり合わせを行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	保護者からの意見を共有し、話し合う機会を設けている。評価表はいつでも目を通せる位置に置いている。	評価をもとに業務改善に繋げていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	改善内容は、ホームページでも見えるよう公開している。	ホームページを公開していることを保護者の方に発信していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	現在は行っていない。	周知されていないため、周知していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	共有のボードで研修の案内が張り出されている。研修に参加し、知識を得ている。	研修に参加し、自信の資質向上を行っている。研修に全員が参加する機会はないが、研修内容を整理できるところになっていえるため、保護者とのカンファレンスを十分行うだけでなく、保護者とのやり取りからニーズを把握して計画に反映していく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	職員間で子どもの課題を共有し目標を立てている。	アセスメントツールを職員間で共有し、活用していく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	個人記録を日々書き留めており、活用している。	アセスメントツールを職員間で共有し、活用していく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		地域支援は現在行っていないため、今後検討できたらよい。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	職員間で目標を共有し、支援している。支援計画を日に通したうえで支援に当たっている。	ミーティングで話し合い、確認を行っていく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	職員同士で話し合い、広い視野で立案している。	今後も意見を出し合い、良い活動プログラムを立てられるようにする。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	室内・屋内バランスよく、活動に取り入れている。月案のファインリングを行い以前の活動内容を整理しつつプログラムを決めている。その子その子に合った支援を計画している。	子どもの発達に繋がられるようなプログラムを取り入れる。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0		子どもの様子を把握し、課題や成果を確認していく。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝礼で情報伝達をしている。ホワイトボードを活用して役割や内容をいつでも確認できるようにしている。	時々、伝達漏れがあるため申し送り紙で記入、口頭でも行うようにする。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	終礼で打ち合わせを行い日報に記録している。打ち合わせに参加できない職員にも内容を共有している。	気付いた点を共有し、対応策を考え実行していけるようにする。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	打ち合わせ時に記録をし、いつでも読み返せるようにする。	改善する場合は意見を出し話し合いの場を設ける。
関係機関や保護者との連携	20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	計画作成時にカンファレンスを行っている。	カンファレンスを行い、以前の個人記録を見直し、検討していく。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	施設長が参加をしている。	施設長が参加しているが、どの職員も参加できる体制を整えていく。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	関係機関と連携し、情報共有を行っている。	連携しているがその他の機関とも連携できると良い。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1	現在、医療ケアのある子どもはいない。	今後、医療ケアの必要な子どもが利用することになった場合には、連携した支援を行っていく。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1	現在、医療ケアの必要な子どもはいない。	今後、医療ケアの必要な子どもが利用することになった場合には、連絡体制を整えていきたい。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	情報共有が出来ている。園への訪問や、電話でのやり取りを行っている。	情報交換を行っている。必要の際は、連絡を共有していく。
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	サポートかけはシートを作成し、情報を共有している。	今後も連携し、情報共有と相互理解を図っていく。	

携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	連絡会へ参加している。	連絡会は、施設長が参加している。職員も参加できる機会があれば参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	現在は行っていない。	交流の機会を設けていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	個人的には参加していない。施設長が参加している。	参加していない職員もいるため、参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	連絡帳や送迎時に情報共有をしている。必要な場合は朝礼や終礼、ホワイトボードに書き、共通理解をしている。	送迎時や連絡帳で伝えきれない場合は、電話や面談にて伝え、共通理解を得る。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	5	教室で行っているやり方を伝えている。	家での様子も聞き、子供に合った支援を行ってほしい。職員のペアレント・トレーニングの研修を行い、実践できるようにしていく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時などに説明している。	今後も丁寧に説明を行っていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		計画作成後に、支援内容を丁寧に説明し、同意をいただき署名捺印をいただく。
	34	定期的、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	個人面談の実施だけでなく、連絡帳や送迎時などに助言を行っている。	相談内容に対し職員間で話し合い共通理解したうえで送迎時、誰が応じても同じ答えができるようにしていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	年に1回ふれあいデーを開催している。	今年度は2月に保護者同士が交流できる場を設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	職員間で相談して対応している。	相談があった際は、職員間で共有し迅速に対応できるようにしていく。
非常時等の対応	37	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	行事前にお便りや「えんふोट」を発信している。	継続してお便りや写真の発信を行っていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	個人ファイルは鍵付きロッカーに保管している。処分の際はシュレッダーを使っている。	継続していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	分かりやすいように視覚教材を用いている。	伝え方を工夫していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	地域の施設をお借りして避難訓練や体験活動を行っている。	何か地域の方と関わることが出来るイベントがあれば良い。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	火災・地震している場面での避難訓練を行っている	保護者へのマニュアルは周知していない。訓練は実施しているが、マニュアルは周知できていない。職員・保護者に周知していく。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	定期的に避難訓練を行っており内容も様々な状況を想定し、毎回変えている。	非常時の備品は取り出しやすい位置に置き、どこにあるのか再度確認していきたい。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	個別面談時に確認している。薬の詳細や服薬方法を事前に確認している。	投薬忘れがないか、二重チェックをしても良いかもしれない。	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	職員間で必ず共有し、個別対応している。アレルギーのある子はお弁当を持参している。	今後も、契約時に保護者から伺っている。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	ファイルを作成し、都度事例の記入をした上で職員間で共有している。	書くことは知っているが実際に見たことが無い。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	虐待を防止するための研修に職員が参加している。	研修に参加していない職員がいるため、順番に参加できるようにしていく。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2	契約時にお伝えしている。	どのように保護者の方に伝えているのか、職員間でも共有し、やむを得ず身体拘束した際には、保護者に速やかに報告を行う。	

回収数を  
ください。  
集計しておりま

以上を目指しましよ  
う。

足層の意見を  
とができるので、